

臨時レポート

NYダウが下げ幅の半値戻し水準を超える

感染者増加数のピークアウトが明らかになれば更に上昇も

- ▶ 4月8日のNYダウが、3月4日高値から3月23日安値までの下げ幅の半値戻し水準を超えた。米国政府の経済対策やFRB（米連邦準備制度理事会）の資金供給策等が支援材料に。
- ▶ 米国の新型コロナウイルス感染者増加数のピークアウトが明らかになれば米国REITとともに更に上昇か。米国が最大規模を占める世界株式や世界REITに好影響を与える可能性も。

～NYダウが下げ幅の半値戻し水準を超える～

- 4月8日のNYダウの終値は23,433.57ドルと、トランプ大統領が新型コロナウイルス感染拡大にともなう国家非常事態宣言を行う（3月13日）前の直前高値（3月4日）から、その後の安値（3月23日）までの下げ幅の半値戻しの水準（22,841ドル）を上回りました。9日は更に続伸し、23,719.37ドルで引けました。米国REITも回復傾向となっています（図表1）。3月16日に80を超え、リーマン・ショック以来となる高水準に跳ね上がったVIX指数（注）も、4月9日時点では約1ヵ月ぶりの水準に低下しています（図表2）。

～経済対策や資金供給策等が支援材料に～

- トランプ政権は3月27日、家計への現金給付や中小企業支援等を柱とする総額2兆ドル（約220兆円）規模の緊急経済対策法を成立させました。同金額は2008年のリーマン・ショック後の経済対策7,000億ドル（約75兆円）を大きく上回ります。同政権は更なる追加対策の検討に入っているようです。FRBは3月15日に量的緩和策を再開しましたが、その後4月9日には新型コロナウイルス感染拡大の打撃を受ける米企業や地方政府に最大2.3兆ドル（約250兆円）の資金供給を行うと発表する等、資金繰り支援を強化しています。こうした対策の効果が、足元の株価等の回復につながっているものと思われます。

～感染者増加数のピークアウトで一段の上昇も～

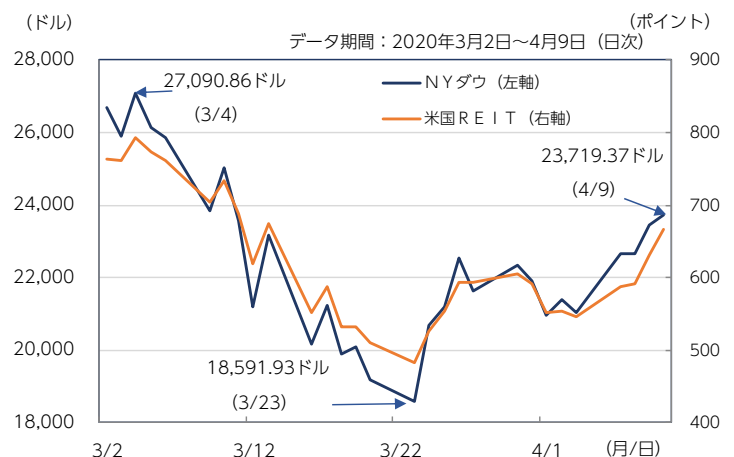
- 強力な人の移動規制が奏功し、米国での感染者増加数が近々ピークアウトするとの見方が出始めています。ピークアウトが明らかになれば、米国株式や米国REITは更に回復傾向を強めるものと思われます。米国が最大規模を占める世界株式や世界REIT（図表3）に好影響を与えるものと考えます。

（注）VIX指数とは、シカゴオプション取引所がS&P500種指数のオプション取引の値動きをもとに算出・公表している指数。一般的に、数値が高いほど、投資家が先行きに対して不安を感じているとされる。別名「恐怖指数」とも呼ばれる。

※米国REIT：FTSE NAREIT ALL-EQUITY REIT指数、世界株式：MSCI World指数、世界REIT：S&P世界REIT指数（全てドルベース）

出所）図表はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

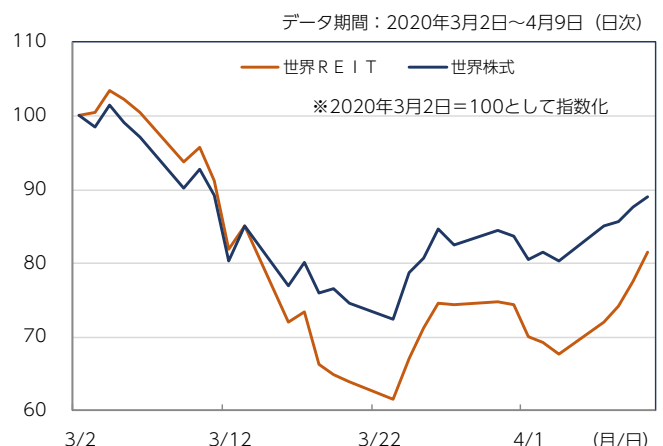
図表1：NYダウと米国REIT



図表2：VIX指数



図表3：世界株式と世界REIT



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>